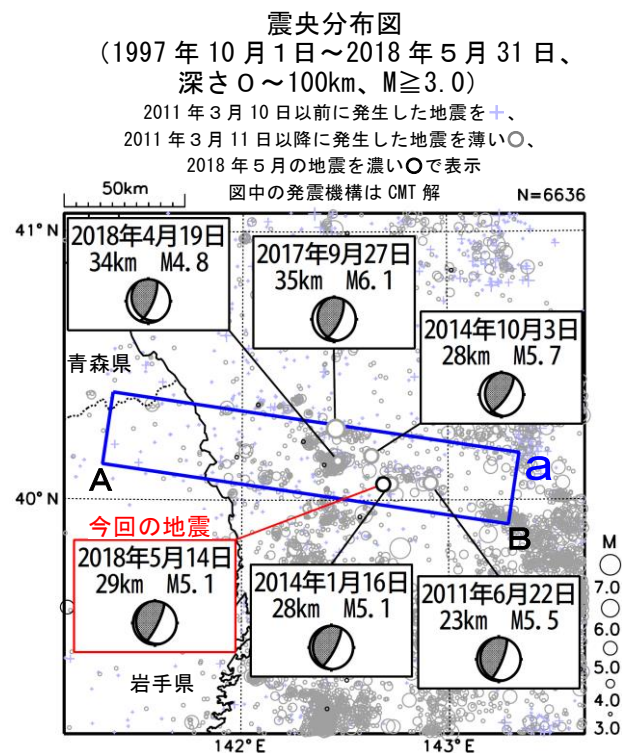


5月14日 岩手県沖の地震

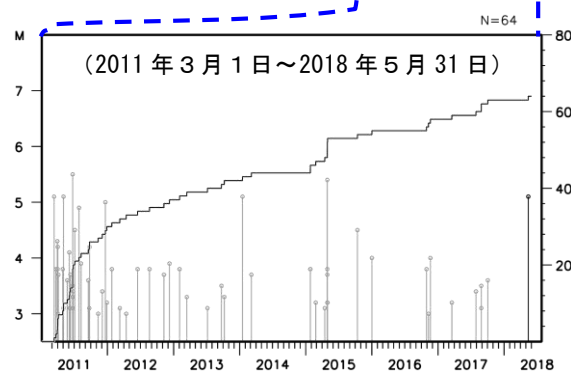
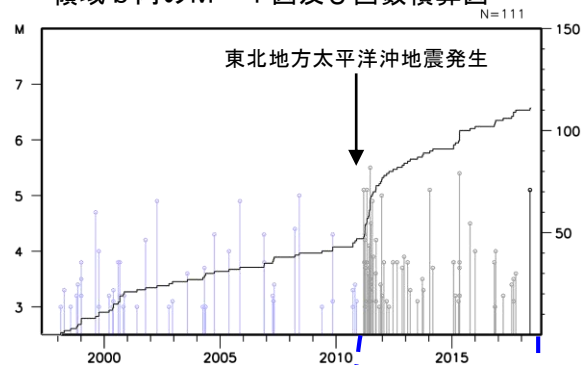


2018年5月14日19時31分に岩手県沖の深さ29kmで $M 5.1$ の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

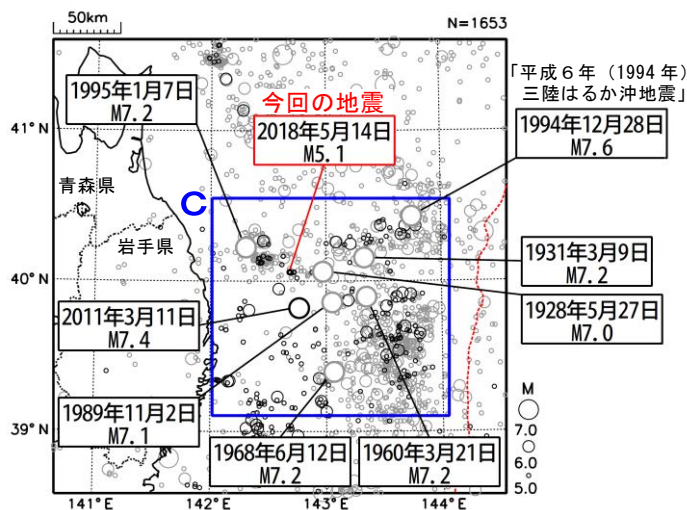
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M 5$ を超える地震が時々発生しており、東北地方太平洋沖地震発生以降は地震活動が活発化した。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1994年12月28日に「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」($M 7.6$ 、最大震度6)が発生し、青森県八戸市と岩手県宮古市で50cmの津波が観測された(「験震時報第64巻」による)。この地震により、死者3人、負傷者788人、住家被害9,522棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1923年1月1日～2018年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
2011年3月11日以降に発生した地震を濃く表示



領域c内のM-T図

